

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



韓国での貴重な経験

長崎県壱岐振興局管理部（壱岐市派遣） 主任主事 宮川 靖央

クレアソウル事務所では、初めての海外勤務ということで文化の違いなどに戸惑いながらも、日本人駐在員や韓国人の仲間たちと過ごした日々は、普通では経験できない貴重なもので、私にとって大きな財産となりました。

外に出て改めて気づく日本の魅力

韓国に赴任してから、まず痛感したことは、自分がまだまだ日本、そして地元・長崎県の魅力について分かっていないということでした。観光展や日韓交流おまつりなどのイベントにおける活動支援では、「どう伝えたら韓国の人に興味を持ってもらえるのか」などといったことを常に考えながら、必死になって身振り手振りを交えながら説明していたことを思い出します。そういった機会でも説明を繰り返していくうちに今までの自分では気づかなかった「日本の魅力、長崎の魅力」というものに韓国で改めて気づくことができました。さらにイベントなどでのPR力というのも身についたと思います。



長崎県ソウル事務所公式マスコット「カステラン」で長崎をPR！（活動支援：日韓交流おまつり in seoul）

クレアソウルでの経験

クレアソウル事務所では、日韓共同セミナーをはじめ、

各種活動支援、インターンシップ関係事務など本当にさまざまな業務を担当させていただきました。韓国側のカウンターパートであるKRILA（韓国地方行政研究院）との連携により開催した「日韓共同セミナー」では、日韓同時通訳で実施する国際会議を、韓国の仕事のスピード感に圧倒されながらも、無事に開催することができ、各種調整能力が養われたのではないかと思います。また、インターンシップ関係業務では、クレアソウル事務所にインターンに来てくれた韓国の学生に、良い経験してもらい、さらに日本のことを好きになってもらうために、積極的にコミュニケーションを図ることはもちろん、日本の各地域を知ってもらう取り組みや事務所にとってメリットがある研修内容にするなど工夫して取り組みました。その後、東京の会社に就職した学生から連絡をもらい、長崎に遊びに来てくれた時は、親のように嬉しかったことを覚えています。

長崎の魅力を世界へ！

新型コロナウイルス感染症の影響により3週間ほど前倒しで、バタバタと帰任してから、約3年。ようやくコロナ禍も終わりに近づいており、海外との往来も復活しています。長崎県も新幹線の開業や長崎スタジアムシティプロジェクトなど「100年に一度の大きな変化」を迎えており、この変化をチャンスと捉え、クレアで培った経験などを活かし、「国際観光都市・長崎」をさらに盛り上げていきたいと考えております。

プロフィール・ほか

- 現所属：長崎県壱岐振興局管理部（壱岐市派遣）
- クレア在籍時の所属
2017年4月～2018年3月 経済交流課
2018年4月～2020年3月 ソウル事務所